

明るい選挙は

わたしたち一人一人の手で

統一地方選挙を前に

選挙は、わたしたちの暮らしの願いを政治に反映させる最大のチャンスであり、わたしたちの一票は暮らしをよくするための貴重な「意志表示」です。

これからの政治を任せる人を選ぶにあたって、わたしたちは冷静に悔いのない一票を投じたいものです。そして、みんなの一票が正しく政治に生かされるためには、選挙は公正に行われなければなりません。

四月八日と二十一日の統一地方選挙の前に、公正で明るい選挙を実現するために、私たちが有権者が心得ておきたい基本的なルールのいくつかを、紹介しましょう。

きれいな選挙は 三不運動から

現職の議員はもちろん、候補者や立候補の意思のある人が、選挙区内の人にする寄付は、親族に対する場合など特別なケースを除いて、いかなる名義であろうとも、いつさい禁止されています。また、わたしたち有権者も、寄

付を求めたり、受け取ったりしてはいけないので、十分注意しましょう。この「寄付の禁止」は、選挙に関するものと否とを問わず、日常のあらゆる場合についてあてはまります。

ここでいう「寄付」とは、お金や品物を贈ることはもとより、財産上の利益を提供したり、約束する場合も含まれます。

具体的な例をあげると、次のようなものです。

◎お中元やお歳暮、出産、入学、

飲酒運転を追放!!

昨年十二月一日、道路交通法の改正に伴い、酒酔い運転に対する罰則が強化され飲酒運転は減少したとの報道ですが、黒埼町内においては今年に入ってから飲酒運転により検挙された人が例年になく増えているとのことは誠に残念なことです。

もつとも悪質な交通違反であるとともに、死亡、重傷等、重大事故につながる飲酒運転を町から追放しましょう。

飲酒運転を追放するためには、取締りもさることながら、まず本人の自覚が一番大切です。

さらに本人の周囲である家庭、地域、職場において飲酒運転は絶対にしてない、させないという気運を徹底することが大事です。

〈選挙法ひとくちメモ〉



政治家や候補者などがお中元や寄付など金品を贈ることはルール違反です。



政治家や候補者などにお祭りの寄付など金品を求めるとも禁じられています。



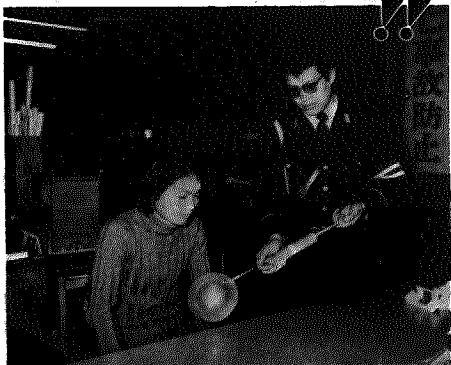
政治家や候補者などから祝儀やせん別など金品を受けとってはけません。一贈らない・求めない・受けとらない選挙の時にきざらず、日ごろからみんなが「きれいな選挙」を心がけましょう。

大矢正治議員

が逝去



長期病氣療養中の大矢正治議員(板井二)は、二月十六日午後四時五十四分、家族の手厚い看護の介もむなく、西新湯病院において他界されました。氏は在任中、高速道路対策特別委員長などを歴任、温厚な性格と決断力は、広く住民から親しまれ生前は産業建設委員会に席を置いていましたが、病氣には勝てずその人柄が惜しまれています。勲統七年十月。



飲酒運転の取締りは強化されているのだが!

献血 金色特別社員章を受与

近藤重鴻さん 大越幸次さんの の両氏に

三月二日、役場議場で献血友の会の総会が開かれ、近藤重鴻さん、大越幸次さんの両氏に、献血二十回以上の金色特別社員章が受与、またこのほか、十回の銀色特別社員章には山下善一さんほか七名、友の会表彰は、桜井三作さんほか事業所を含む、八十四の個人、団体が受賞しました。温い善意に対し厚くお礼を申し上げると同時に、



31回の最多献血を記録し金色社員章を受ける近藤さん

みなさんもおいつ、どこで、事故や病気が、災害に合い輸血の必要を生じないとも限りません。人の為、自分の為にも、是非、献血車「ゆうあい号」が来町した際は、万一に備え献血されることを、お願い致します。

- 一、期日 四月三日(火)
 - 一、時間 午後一時〜三時
 - 一、場所 中央公民館前
- ご協力下さい。

板井小学校で 二十四の瞳が一日入学

三月五日、午後一時三十分から板井小学校(福住チヨ校長)で、わずかに十二名の一日入学が行われ、在校生の温い出迎えを受け、一年生と一緒に、歌を歌ったりゲームなどに興じていました。

これは一日入学することにより学校に親しませ、初めての学校生活がスムーズにいくようにと、同時に仲間意識を育て、連帯感を養ってほしいと、毎年行っているもので今年も趣向をこらし、一年生



1年生の劇に見入る新入学児と父兄



く驚きと憧れでもあります。それだけに精神的に緊張し、毎日と新しい経験を積み重ねていくには、丈夫な心と体が大切です。病氣や虫歯は直しておきましょう。

●規則正しい生活のリズムの習慣へ早寝早起

○その二
引つ込みあみを直すには、特に初めてのお子さんは、学

入学前にぜひこれだけは 『心の準備』と『しつけ』

「もうあと〇日」と、親子で指折り数えながら入学の日が待たれる、今日この頃です。学校生活の将来につながる基礎、基本のポイントについて再考し、今日から実行にうつしましょう。

○その一 健康で元氣よく学校生活は、何もかもが新しく。

・自分のことは自分でさせる。親の方が焦って、つい手を出してしまいます。育てる心は待つことでもあります。一人でだんだん自分でできる喜びを味わわせ独立心や集中力を育てましょう。

・できた時はほめる。だんだんできたならばほめましょう。認められた喜びは、やがて「またうまくやろう」とする意欲を育て、工夫、創造、追求の力となります。

●学校は楽しい所という期待感をもたせましょう。わからないことは学校に連絡してください。親の不安感や「薬物」です。

板井小学校長 福住チヨ